

## 平成30年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 76 学校名 千葉県立下総高等学校 課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す。</li> <li>2 生徒が安心して学び、一人一人が個性や能力を伸ばせる学校づくりを目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホームページ内容の定期的な更新を行い、最新の情報を提供する。近隣の小・中学校との連携活動や相互授業や出前授業、学校説明会・学校開放講座を実施する。</li> <li>2 社会人基礎力としての基本的な知識・技能を確実に身につけさせ、自己実現を支援する。</li> <li>3 個に応じたきめ細やかな生徒指導や生徒相談を実施し、学校行事や委員会活動、部活動の活性化を図る。</li> <li>4 産業教育の重要性を踏まえ、園芸科、自動車科、情報処理科の特色ある専門教育の推進及び資格取得の推進を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホームページの掲載内容と更新状況の確認。 授業公開、学校説明会、体験入学、小中高交流、学校開放講座、ミニ集会等におけるアンケートの結果。</li> <li>2 学校設定教科「ベーシック」の検証や校内の各種テスト等による基礎基本の定着及び進路決定率。</li> <li>3 退学者数や特別指導の人数・件数や生徒・職員・保護者等によるアンケート等の結果。</li> <li>4 生徒・職員・保護者等によるアンケートの結果。</li> </ol>
学習指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎・基本となる知識を確実に身につけられるよう、授業改善や個々の授業力向上に努め「わかる授業」、「楽しい授業」、「身につく授業」を展開し、生徒が主体的に学ぶ教育を推進する。</li> <li>2 時代の進展に対応した教育課程の推進と教育環境の整備に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒による学校評価アンケートの結果を踏まえた授業を行う。</li> <li>2 授業公開を定期的実施し、保護者・教員による授業参観と評価を行う。</li> <li>3 開始時間を守り適切な服装や集中した態度での授業参加の指導を行う。</li> <li>4 職員相互の授業公開及び研究授業・研修会を実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒による授業評価アンケートの結果。</li> <li>2 授業公開の実施回数と生徒・保護者・教職員等によるアンケートの結果。</li> <li>3 教職員等によるアンケートの結果。</li> <li>4 校内研究授業・研修会の実施回数とその状況。</li> </ol>
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 すべての教員があらゆる教育活動の場面を活かして生徒理解に努め、個に応じた生徒指導を推進する。</li> <li>2 委員会活動や部活動の活性化を図る。</li> <li>3 喫煙・薬物防止指導等の徹底を図る。</li> <li>4 いじめを許さない学校づくりを推進する。</li> <li>5 教育相談・人権教育の充実を図る。</li> <li>6 特別支援教育の充実を図り、すべて生徒が望ましい環境で教育が受けられるよう、指導体制の整備に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 朝の声かけ運動、登校・下校指導を通して、遅刻・早退生徒の改善、挨拶の励行、頭髪・服装指導、通学マナー指導を行う。</li> <li>2 年7回以上、生徒主体の委員会・部活動活性化行事開催。</li> <li>3 外部講師を活用した生活安全講話、人権講話等の実施。</li> <li>4 本校の「いじめ防止基本方針」に則り、いじめを許さない雰囲気醸成に努める。</li> <li>5 クラスでの個人面談実施。1学年を対象としたスクールカウンセラーとのグループ面接の実施。SCの利用促進。</li> <li>6 障害を持つ生徒に対する合理的配慮等について組織として取り組む。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 登下校指導の実施状況、及び遅刻者等の延べ人数についての近年の変化状況。</li> <li>2 委員会・部活動活性化行事開催状況。</li> <li>3 講話後のアンケートや感想文での効果確認。</li> <li>4 定期的な被害調査の実施。担任との面談による情報収集。SCとの情報共有。</li> <li>5 個人面談の実施状況。スクールカウンセラーのグループ面談の実施状況及び活用状況。SCへの相談がしやすい環境を整備する。</li> <li>6 関係機関や保護者との連携を緊密に図り、的確な指導に務める。また、特別支援教育についての職員研修の充実を図る。</li> </ol>

キャリア教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 発達段階に応じた勤労観・職業間の育成を図るため、計画的な進路学習やキャリア教育を推進し、生徒の希望進路の実現を支援する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企業訪問を精力的に実施し、就職・進学等の情報収集及び就職先の開拓に努める。</li> <li>2 インターンシップ、資格取得を積極的に勧める。</li> <li>3 進路説明会(外部講師等による説明会・進路ガイダンス・進路学習)を全学年に対し学年毎に実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訪問回数や求人数の確認と生徒の「進路資料室」、「進路相談室」の利用状況。</li> <li>2 参加者数と資格取得状況の確認。</li> <li>3 進路説明会(進路ガイダンス・進路学習)の実施回数とその状況。</li> </ol>
特別活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 望ましい集団活動を通じて心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。</li> <li>2 集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的実践的な態度を育てる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 HRや学校生活の充実と向上を図るとともに諸課題に対応するためにLHR年間活動計画を作成し、活動の活性化を促進する。</li> <li>2 生徒会や農業クラブにおいて、学校生活の充実と向上を図るための年間活動計画書を作成し、活動に取り組む。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 LHRの計画と実施の状況。</li> <li>2 日頃の集団活動状況及び大会等での研究発表状況。</li> </ol>
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 産業教育の重要性を踏まえ園芸科、自動車科、情報処理科の特色ある専門教育の推進及び専門技術の定着を図る。</li> <li>2 寮生活により基本的な生活習慣の確立と望ましい人間関係づくり等を図る。</li> <li>3 園芸科では、農業クラブ活動を推進し、農業経営者育成を柱とした実験実習を計画的に展開する。</li> <li>4 自動車科では、整備士試験の合格率を向上させるとともに、最新の整備技術を導入し習得させる。</li> <li>5 情報処理科では、資格取得の充実を図り、生徒の職業意識の高揚と規律ある行動の定着を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 産業人としての資質向上を図る実験実習を展開する。先進的な取り組みを公開し、併せて広報活動も積極的に行う。</li> <li>2 入寮時に各自に寮生活の目標を持たせ実践させると共に、皆勤を目指す指導を行う。また、外部と連携し食育を推進する。</li> <li>3 園芸科では、プロジェクト学習や農業鑑定競技等の指導を充実させるとともに、外部団体との連携を図る。</li> <li>4 自動車科では、個別指導や学科の教育内容の精選及び充実、新技術導入等に努める。</li> <li>5 情報処理科では、資格取得のための工夫した指導と実績に直結する補習体制の確立を図る。</li> <li>6 学年を超えた情報ビジネス科生徒間の連携及び行事の実施により、職業人を目指す生徒としてのマナーと自覚を持たせる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新規及び継続した取り組みの発展状況の確認(研究集録)と取り組みや広報の回数等。</li> <li>2 入寮時及び退寮時における生徒の成長状況。</li> <li>3 日本農業技術検定など各資格の合格率と上級学校への進学や農業・関連産業への就職状況。</li> <li>4 自動車整備士等各資格の合格率と技術教育推進のための学習環境の整備状況。</li> <li>5 生徒の学習意欲を高めるための授業内容の改善及び資格取得状況。</li> <li>6 生徒の進路希望の実現状況。</li> </ol>